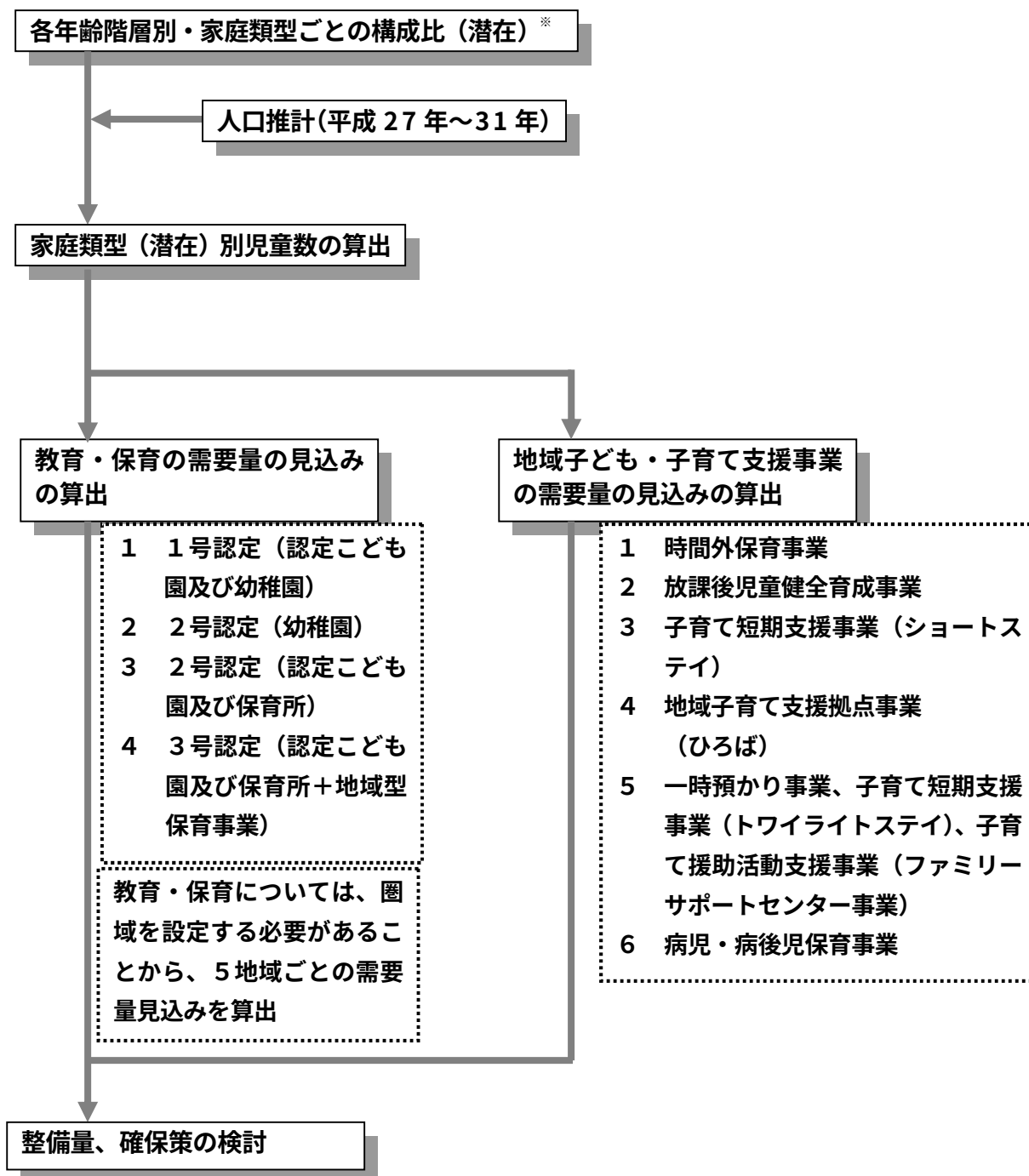


**子ども・子育て支援事業計画
需要量見込みの算出にかかる資料**

I 子ども・子育て支援事業計画 需要量見込み算出の流れ

- ・ 国が配布した「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」を基本に次の流れで算出する。

【流 れ】



※家庭類型とは両親の働き方により分類したもので、潜在とは現在の家庭類型に就労意向、就労形態の変更意向を加味したもの。詳細はp3以降を参照。

II 人口推計

【使用した人口推計について】

- ・ 世田谷区で実施した将来人口の推計結果を使用。
- ・ 平成 25 年 1 月 1 日の住民基本台帳人口を基準人口として、平成 26 年から平成 35 年までの 10 年間の将来人口を推計している。
- ・ 推計方法はコーホート要因法を用い、変動要因のうち、「出生」については、従来の合計特殊出生率ではなく、国の推計手法にあわせ「女性子ども比」※を使用し、区の過去の 10 年間の推移から推計した。
- ・ 本資料では、平成 27 年の 5 地域別の人口推計の総和を使用して、算出の方法を示す。

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
0歳	6,965	6,962	6,998	6,976	6,952
1歳	7,160	7,179	7,176	7,215	7,192
2歳	7,259	7,143	7,162	7,159	7,198
3歳	7,083	7,239	7,124	7,143	7,141
4歳	7,142	7,072	7,229	7,114	7,133
5歳	6,865	7,188	7,117	7,275	7,159
保育年齢人口 (0-5歳)	42,474	42,783	42,806	42,882	42,775
6歳	6,833	6,900	7,224	7,153	7,311
7歳	6,646	6,865	6,932	7,257	7,185
8歳	6,328	6,661	6,882	6,950	7,275
9歳	6,263	6,359	6,695	6,917	6,986
10歳	6,189	6,299	6,395	6,733	6,956
11歳	6,247	6,214	6,323	6,420	6,759
小学校年齢人口 (6-11歳)	38,506	39,298	40,451	41,430	42,472
合計	80,980	82,081	83,257	84,312	85,247

※ 15 歳～49 歳の女性の人口に対する 0 歳の子どもの人口の比率

III 家庭類型の算出

III-1 就学前児童の家庭類型の算出

【家庭類型（現状・潜在）の考え方】

○ タイプの設定

タイプA：ひとり親家庭

タイプB：フルタイム×フルタイム

タイプC：フルタイム×パートタイム（月120時間以上+48時間～120時間の一部）

タイプC'：フルタイム×パートタイム（月48時間未満+48時間～120時間の一部）

タイプD：専業主婦（夫）

タイプE：パートタイム×パートタイム（双方が月120時間以上+48時間～120時間の一部）

タイプE'：パートタイム×パートタイム（いずれかが48時間未満+48時間～120時間の一部）

タイプF：無業×無業

○ ステップ【ひとり親家庭は問4、就労形態等は問7（1）（2）】

ア ひとり親家庭の算出

イ タイプB～Fの算出

○ 家庭類型（潜在）の考え方：タイプB～F

母親		1. フルタイム 2. 産休・育休・介護休業中	3. フルタイム以外（パートタイム等）			4. 現在は仕事を していない 5. 仕事をしたこと がない
			120時間 以上	48時間以上 120時間未 満	48時間 未満	
父親						
1. フルタイム 2. 産休・育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC’		
3. フルタイム以外 (パートタイム等)	120時間 以上	タイプC	タイプE			タイプD
	48時間以上 120時間未 満					
	48時間 未満	タイプC’		タイプE’		
4. 現在は仕事を していない 5. 仕事をしたことが ない			タイプD			タイプF

※パート月48時間～120時間の扱い

3歳以上：現在幼稚園を利用して保育施設の希望がない者を「'」とする。

0～2歳：現在保育施設利用者と利用していないが希望する者をタイプCやタイプEとし、それ以外の者を「'」とする。

【家庭類型（現在）：就学前児童調査】

- 現在の家庭類型は下表のようになる。
- 「C」と「C'」、「E」と「E'」を区分するパート月 48 時間～120 時間の扱いについては、以下の条件で区分している。

3 歳以上：現在幼稚園を利用して保育施設（認可保育所、認定こども園・保育園枠）の希望がない者を「C'」、「E'」とする。

0～2 歳：現在保育施設（認可保育所、認証保育所、保育室、保育ママ、家庭的保育事業、認定こども園・保育園枠、事業所内保育所、ベビーシッター）利用者と、利用していないが希望する者を「C」、「E」とし、それ以外の者を「C'」、「E'」とする。

○家庭類型（現在）の算出

■0 歳～就学前

	現在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	98	2.7%
タイプB フルタイム×フルタイム	1164	32.6%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	206	5.8%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	188	5.3%
タイプD 専業主婦(夫)	1896	53.1%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	4	0.1%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	5	0.1%
タイプF 無業×無業	11	0.3%
全体	3572	100.0%

■0 歳

	現在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	9	1.4%
タイプB フルタイム×フルタイム	265	40.8%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	21	3.2%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	23	3.5%
タイプD 専業主婦(夫)	326	50.2%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	1	0.2%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	1	0.2%
タイプF 無業×無業	4	0.6%
全体	650	100.0%

■1・2 歳

	現在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	19	1.6%
タイプB フルタイム×フルタイム	443	36.7%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	72	6.0%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	51	4.2%
タイプD 専業主婦(夫)	618	51.2%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	2	0.2%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	0	0.0%
タイプF 無業×無業	1	0.1%
全体	1206	100.0%

■3 歳～就学前

	現在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	70	4.1%
タイプB フルタイム×フルタイム	456	26.6%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	113	6.6%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	114	6.6%
タイプD 専業主婦(夫)	952	55.5%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	1	0.1%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	4	0.2%
タイプF 無業×無業	6	0.3%
全体	1716	100.0%

【家庭類型（潜在）：就学前児童調査】

- ・ 国の定める「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」に従い、家庭類型（潜在）を算出する。ここでは、タイプB～E'への転職意向の把握により潜在的な家庭類型を求めるため、タイプA（ひとり親家庭）は変化がない。
- ・ 具体的には、母親について現在パートタイムでフルタイムへの転職希望が有り実現見込みがある者【問7（2）「3」】を移行している。また、現在無職で1年以内に就労希望がある者【問7－1「3」】を希望就労形態によりフルタイム、パートへ移行している。結果は以下の通りである。

○家庭類型（潜在）の算出

■0歳～就学前

	潜在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	98	2.7%
タイプB フルタイム×フルタイム	1255	35.1%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	296	8.3%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	287	8.0%
タイプD 専業主婦(夫)	1617	45.3%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	4	0.1%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	7	0.2%
タイプF 無業×無業	8	0.2%
全体	3572	100.0%

■0歳

	潜在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	9	1.4%
タイプB フルタイム×フルタイム	290	44.6%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	40	6.2%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	31	4.8%
タイプD 専業主婦(夫)	275	42.3%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	1	0.2%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	1	0.2%
タイプF 無業×無業	3	0.5%
全体	650	100.0%

■1・2歳

	潜在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	19	1.6%
タイプB フルタイム×フルタイム	474	39.3%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	98	8.1%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	81	6.7%
タイプD 専業主婦(夫)	531	44.0%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	2	0.2%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	0	0.0%
タイプF 無業×無業	1	0.1%
全体	1206	100.0%

■3歳～就学前

	潜在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	70	4.1%
タイプB フルタイム×フルタイム	491	28.6%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	158	9.2%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	175	10.2%
タイプD 専業主婦(夫)	811	47.3%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	1	0.1%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	6	0.3%
タイプF 無業×無業	4	0.2%
全体	1716	100.0%

【家庭類型（潜在）別児童数の算出】

- ・ 「平成 27 年の推計児童数」に「家庭類型（潜在）割合」を乗じて、家庭類型（潜在）別児童数を算出する。

■ 0 歳～就学前

	児童数		潜在家庭類型割合	=	家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	42,473	×	0.027	=	1,165
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.351	=	14,923
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48～120時間の一部)		×	0.083	=	3,520
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+48～120時間の一部)		×	0.080	=	3,413
タイプD 専業主婦(夫)		×	0.453	=	19,227
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48～120時間の一部)		×	0.001	=	48
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+48～120時間の一部)		×	0.002	=	83
タイプF 無業×無業		×	0.002	=	95

■ 0 歳

	児童数		潜在家庭類型割合	=	家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	6,965	×	0.014	=	96
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.446	=	3,107
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48～120時間の一部)		×	0.062	=	429
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+48～120時間の一部)		×	0.048	=	332
タイプD 専業主婦(夫)		×	0.423	=	2,947
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48～120時間の一部)		×	0.002	=	11
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+48～120時間の一部)		×	0.002	=	11
タイプF 無業×無業		×	0.005	=	32

■ 1・2 歳

	児童数		潜在家庭類型割合	=	家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	14,419	×	0.016	=	227
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.393	=	5,667
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48～120時間の一部)		×	0.081	=	1,172
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+48～120時間の一部)		×	0.067	=	968
タイプD 専業主婦(夫)		×	0.440	=	6,349
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48～120時間の一部)		×	0.002	=	24
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+48～120時間の一部)		×	0.000	=	0
タイプF 無業×無業		×	0.001	=	12

■ 3 歳～就学前

	児童数		潜在家庭類型割合	=	家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	21,089	×	0.041	=	860
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.286	=	6,034
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48～120時間の一部)		×	0.092	=	1,942
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満+48～120時間の一部)		×	0.102	=	2,151
タイプD 専業主婦(夫)		×	0.473	=	9,967
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48～120時間の一部)		×	0.001	=	12
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満+48～120時間の一部)		×	0.003	=	74
タイプF 無業×無業		×	0.002	=	49

※地域別・平成 28 年～31 年の家庭類型別児童数についても同様の手順で算出する。

III－２ 就学児童の家庭類型の算出

【家庭類型（現状・潜在）の考え方】

○ タイプの設定

タイプA：ひとり親家庭

タイプB：フルタイム×フルタイム

タイプC：フルタイム×パートタイム（月48時間以上）

タイプC'：フルタイム×パートタイム（月48時間未満）

タイプD：専業主婦（夫）

タイプE：パートタイム×パートタイム（双方が月48時間以上）

タイプE'：パートタイム×パートタイム（いずれかが48時間未満）

タイプF：無業×無業

○ ステップ【ひとり親は問4、就労形態等は問7（1）（2）】

ア ひとり親家庭の算出

イ タイプB～Fの算出

○ 家庭類型（潜在）の考え方：タイプB～F

母親 父親		1. フルタイム 2. 産休・育休・介護休業中	3. フルタイム以外（パートタイム等）		4. 現在は仕事を していない 5. 仕事をしたこと がない
			48時間 以上	48時間 未満	
1. フルタイム 2. 産休・育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'	
3. フルタイム以外 （パートタイム等）	48時間 以上	タイプC	タイプE		タイプD
	48時間 未満	タイプC'		タイプE'	
4. 現在は仕事を していない 5. 仕事をしたこと がない			タイプD		タイプF

【家庭類型（現在）：就学児童調査】

- ・ 現在の家庭類型は下表のようになる。

○家庭類型（現在）の算出

■ 6歳～9歳

	現在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	110	6.1%
タイプB フルタイム×フルタイム	344	19.1%
タイプC フルタイム×パートタイム(48時間以上)	330	18.3%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満)	113	6.3%
タイプD 専業主婦(夫)	887	49.2%
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)	2	0.1%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満)	2	0.1%
タイプF 無業×無業	14	0.8%
全体	1,802	100.0%

■ 6～8歳

	現在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	76	5.7%
タイプB フルタイム×フルタイム	270	20.3%
タイプC フルタイム×パートタイム(48時間以上)	214	16.1%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満)	79	5.9%
タイプD 専業主婦(夫)	676	50.8%
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)	2	0.2%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満)	2	0.2%
タイプF 無業×無業	12	0.9%
全体	1,331	100.0%

■ 9歳

	現在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	30	6.7%
タイプB フルタイム×フルタイム	66	14.8%
タイプC フルタイム×パートタイム(48時間以上)	112	25.1%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満)	33	7.4%
タイプD 専業主婦(夫)	203	45.5%
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)	0	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満)	0	0.0%
タイプF 無業×無業	2	0.4%
全体	446	100.0%

【家庭類型（潜在）：就学児童調査】

- ・ ここでは、タイプB～E'への転換意向の把握により潜在的な家庭類型を求めるため、タイプA（ひとり親家庭）は変化がない。
- ・ 具体的には、母親について現在パートタイムでフルタイムへの転職希望が有り実現見込みがある者【問7（2）「3」】を移行している。また、現在無職で1年以内に就労希望がある者【問7－1「3」】を希望就労形態によりフルタイム、パートへ移行している。結果は以下の通りである。

○家庭類型（潜在）の算出

■6歳～9歳

	潜在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	110	6.1%
タイプB フルタイム×フルタイム	382	21.2%
タイプC フルタイム×パートタイム(48時間以上)	504	28.0%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満)	129	7.2%
タイプD 専業主婦(夫)	663	36.8%
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)	2	0.1%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満)	2	0.1%
タイプF 無業×無業	10	0.6%
全体	1,802	100.0%

■6～8歳

	潜在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	76	5.7%
タイプB フルタイム×フルタイム	300	22.5%
タイプC フルタイム×パートタイム(48時間以上)	352	26.4%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満)	91	6.8%
タイプD 専業主婦(夫)	501	37.6%
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)	1	0.1%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満)	2	0.2%
タイプF 無業×無業	8	0.6%
全体	1,331	100.0%

■9歳

	潜在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	30	6.7%
タイプB フルタイム×フルタイム	73	16.4%
タイプC フルタイム×パートタイム(48時間以上)	149	33.4%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満)	37	8.3%
タイプD 専業主婦(夫)	154	34.5%
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)	1	0.2%
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満)	0	0.0%
タイプF 無業×無業	2	0.4%
全体	446	100.0%

【家庭類型（潜在）別児童数の算出】

- ・ 「平成 27 年推計児童数」に「家庭類型（潜在）割合」を乗じて、家庭類型（潜在）別児童数を算出する。
- ・ 10 歳、11 歳については、9 歳の潜在家庭類型割合を使い算出する。

■ 6～8 歳

	児童数		潜在家庭類型割合		家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	19,806	×	0.057	=	1,131
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.225	=	4,464
タイプC フルタイム×パートタイム(48時間以上)		×	0.264	=	5,238
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満)		×	0.068	=	1,354
タイプD 専業主婦(夫)		×	0.376	=	7,455
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)		×	0.001	=	15
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満)		×	0.002	=	30
タイプF 無業×無業		×	0.006	=	119

■ 9 歳

	児童数		潜在家庭類型割合		家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	6,263	×	0.067	=	421
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.164	=	1,025
タイプC フルタイム×パートタイム(48時間以上)		×	0.334	=	2,092
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満)		×	0.083	=	520
タイプD 専業主婦(夫)		×	0.345	=	2,163
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)		×	0.002	=	14
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満)		×	0.000	=	0
タイプF 無業×無業		×	0.004	=	28

■ 10 歳

	児童数		潜在家庭類型割合		家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	6,189	×	0.067	=	416
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.164	=	1,013
タイプC フルタイム×パートタイム(48時間以上)		×	0.334	=	2,068
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満)		×	0.083	=	513
タイプD 専業主婦(夫)		×	0.345	=	2,137
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)		×	0.002	=	14
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満)		×	0.000	=	0
タイプF 無業×無業		×	0.004	=	28

■ 11 歳

	児童数		潜在家庭類型割合		家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	6,247	×	0.067	=	420
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.164	=	1,023
タイプC フルタイム×パートタイム(48時間以上)		×	0.334	=	2,087
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48時間未満)		×	0.083	=	518
タイプD 専業主婦(夫)		×	0.345	=	2,157
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)		×	0.002	=	14
タイプE' パート×パート(いずれかが月48時間未満)		×	0.000	=	0
タイプF 無業×無業		×	0.004	=	28

※地域別・平成 28 年～31 年の家庭類型別児童数についても同様の手順で算出する。

IV 教育・保育の需要量の見込み

- ・ 就学前児童調査から、潜在家庭類型 C'・D・E'・F を 1 号の可能性のある対象者として、潜在家庭類型 A・B・C・E を 2 号、3 号認定の可能性のある対象として需要量見込みを算出する。

【1 号認定（認定こども園及び幼稚園）】

- ・ 3 歳以上の家庭類型 C'・D・E'・F を対象として算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に「利用意向率（幼稚園、認定こども園・幼稚園卒の利用を希望している割合【問 11】）」を乗じて算出する。

	家族類型別児童数		利用意向率 (割合)		ニーズ量 (人)
タイプC' フルタイム×パートタイム (月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	2,151	×	0.714	=	1,536
タイプD 専業主婦 (夫)	9,967	×	0.807	=	8,043
タイプE' パート×パート (いずれかが月48時間未満+月48時間～120時間の一部)	74	×	1.000	=	74
タイプF 無業×無業	49	×	1.000	=	49

【2 号認定（幼稚園利用の希望が強いと想定される者）】

- ・ 3 歳以上の家庭類型 A・B・C・E を対象として算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に「利用意向率（現在、幼稚園、認定こども園・幼稚園卒を利用している割合【問 12-1】）」を乗じて算出する。

	家族類型別児童数		利用意向率 (割合)		ニーズ量 (人)
タイプA ひとり親	860	×	0.206	=	177
タイプB フルタイム×フルタイム	6,034	×	0.154	=	929
タイプC フルタイム×パートタイム (月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	1,942	×	0.387	=	752
タイプE パート×パート (双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	12	×	0.000	=	0

【2 号認定（認定こども園、保育所）】

- ・ 3 歳以上の家庭類型 A・B・C・E を対象として算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に『利用意向率（「現在、なんらかの教育・保育施設を定期的に利用したい」と回答した者の割合【問 11】から「上記 2 号認定（幼稚園利用の希望が強いと想定される者）の割合」を控除した割合）』を乗じて算出する。

	家族類型別児童数		利用意向率 (割合)		ニーズ量 (人)
タイプA ひとり親	860	×	0.777	=	669
タイプB フルタイム×フルタイム	6,034	×	0.839	=	5,066
タイプC フルタイム×パートタイム (月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	1,942	×	0.606	=	1,177
タイプE パート×パート (双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	12	×	1.000	=	12

【3号認定（認定こども園、保育所、地域型保育事業）】

- ・ 0～2歳の家庭類型 A・B・C・E を対象として算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に「利用意向率（保育施設（認可保育所、認証保育所、保育室、保育ママ、家庭的保育事業、認定こども園・保育園枠、事業所内保育所、ベビーシッター）のいずれかを希望した割合）【問11】」を乗じて算出する。

<0歳>

	家族類型別児童数		利用意向率(割合)		ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	96	×	0.875	=	84
タイプB フルタイム×フルタイム	3,107	×	0.798	=	2,479
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	429	×	0.825	=	354
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	11	×	0.000	=	0

<1・2歳>

	家族類型別児童数		利用意向率(割合)		ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	227	×	0.944	=	215
タイプB フルタイム×フルタイム	5,667	×	0.950	=	5,382
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	1,172	×	0.800	=	937
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+月48時間～120時間の一部)	24	×	1.000	=	24

【まとめ】

1号認定		9,702 人	幼稚園利用者想定数:11,560 人 利用率:27.21%
2号認定	i 幼稚園利用の想定	1,858 人	
	ii その他	6,924 人	保育利用者想定数:16,399 人 利用率:38.79% (0～2歳:44.31%、3～5歳:32.83%)
3号認定		9,475 人	

V 地域子ども・子育て支援事業の需要量の見込み

1 時間外保育事業

- ・ 就学前児童調査の家庭類型 A・B・C・E を対象として算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に、利用意向率を乗じて算出する。
- ・ 利用意向率は、保育施設を希望しており、18 時以降を利用希望終了時間とした者の割合【問 11・問 12-2（2）】。

	家庭類型別児童数		利用意向率 (割合)		ニーズ量 (人)
タイプA ひとり親	1,165	×	0.494	=	575
タイプB フルタイム×フルタイム	14,923	×	0.381	=	5,681
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間～120時間の一部)	3,520	×	0.079	=	279
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間～120時間の一部)	48	×	0.000	=	0

【需要量見込み】

6,535 人

2 放課後児童健全育成事業

<低学年>

- ・ 就学児童調査の6～8歳の家庭類型 A・B・C・E について算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に、利用意向率を乗じて算出する。
- ・ 利用意向率は、学童クラブを希望する者の割合【問10の「4」】。

<高学年>

- ・ 就学児童調査の6～9歳の家庭類型 A・B・C・E について算出する。
- ・ 各学年別に「家庭類型（潜在）別児童数」に利用意向率をそれぞれ乗じて算出する。
- ・ 利用意向率は、4年生、5年生、6年生まで学童クラブを希望する者の割合【問10の「4」で4年生以上】。

<低学年>

	家庭類型別児童数	利用意向	ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	1,131	0.568	642
タイプB フルタイム×フルタイム	4,464	0.677	3,021
タイプC フルタイム×パートタイム (48時間以上)	5,238	0.354	1,853
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)	15	0.500	7

<高学年>

◆4年生

	家庭類型別児童数	利用意向	ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	421	0.259	109
タイプB フルタイム×フルタイム	1,025	0.385	394
タイプC フルタイム×パートタイム (48時間以上)	2,092	0.202	424
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)	14	0.500	7

◆5年生

	家庭類型別児童数	利用意向	ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	416	0.167	69
タイプB フルタイム×フルタイム	1,013	0.246	249
タイプC フルタイム×パートタイム (48時間以上)	2,068	0.153	317
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)	14	0.000	0

◆6年生

	家庭類型別児童数	利用意向	ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	420	0.148	62
タイプB フルタイム×フルタイム	1,023	0.222	227
タイプC フルタイム×パートタイム (48時間以上)	2,087	0.141	295
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)	14	0.000	0

【需要量見込み】

学年		需要量見込み
低学年		5,523 人
高学年	4年生まで	934 人
	5年生まで	635 人
	6年生まで	584 人
	高学年計	2,153 人

3 子育て短期支援事業（ショートステイ）

- ・ 就学前児童調査のすべての家庭類型を対象として算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に、利用意向を乗じて算出する。
- ・ 利用意向は、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければならない際に、「ショートステイを利用した」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」者の割合に平均日数を乗じた値【問 17】。

	家庭類型別児童数		利用意向		ニーズ量（人日）
タイプA ひとり親	1,165	×	0.116	=	135
タイプB フルタイム×フルタイム	14,923	×	0.042	=	630
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3,520	×	0.000	=	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	3,413	×	0.000	=	0
タイプD 専業主婦(夫)	19,227	×	0.002	=	48
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	48	×	0.000	=	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	83	×	0.000	=	0
タイプF 無業×無業	95	×	0.000	=	0

【需要量見込み】

813 人日／年

4 地域子育て支援拠点事業（ひろば）

- ・ 就学前児童調査の0～2歳のすべての家庭類型を対象として算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に利用意向を乗じて算出（人回／年）する。
- ・ 利用意向は、「ひろばを利用している者の数と利用していない者で利用希望がある者の数を足した割合【問18・問18-2】」に、「利用意向回数（現在利用している者の年間利用日数、今後増やしたい者、今後利用したい者の年間希望日数の平均日数）」を乗じた値。

	家庭類型別児童数		利用意向		ニーズ量（人回）
タイプA ひとり親	323	×	20.915	=	6,747
タイプB フルタイム×フルタイム	8,802	×	20.518	=	180,605
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,590	×	31.269	=	49,716
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,290	×	23.917	=	30,863
タイプD 専業主婦(夫)	9,286	×	38.082	=	353,637
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	35	×	10.667	=	369
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	12	×	0.000	=	0
タイプF 無業×無業	46	×	6.000	=	277

【需要量見込み】

622,214 人回／年

5 一時預かり事業、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）、子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター事業）

＜幼稚園による在園児を対象とした一時預かり＞

① 1号認定による利用

- ・ 就学前児童調査の3歳以上の家庭類型C'・D・E'・Fを対象として算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に利用意向を乗じて算出する。
- ・ 利用意向は、利用意向率に一時預かりを希望している者の平均希望日数を乗じて算出する。
- ・ 利用意向率は、「幼稚園、認定こども園・幼稚園枠の利用を希望している者【問 11】のうち、一時預かりを希望している者の割合【問 16-1】」に、『幼稚園、認定こども園・幼稚園枠の利用者【問 12-1】かつ一時預かりの利用者のうち、「幼稚園での預かり、ほっとステイ、保育園での預かり」を利用している者の割合【問 16】』を乗じた値。

② 2号認定による利用

- ・ 就学前児童調査の3歳以上の家庭類型A・B・C・Eを対象として算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に2号認定（幼稚園利用の希望が強いと想定される者）の年間就労日数の平均を乗じて算出する。

＜一時預かり事業（その他）：上記以外＞

- ・ 就学前児童調査のすべての家庭類型を対象として算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に「一時預かりを利用したい者の数に平均希望日数を乗じた値【問 16-1】」を乗じた総数から、「上記幼稚園での1号認定による利用総数」と「ベビーシッター、その他の利用希望総数【問 16】」を差し引いて算出する。

＜子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター事業）（就学児のみ）＞

- ・ 就学児童調査の6～9歳のすべての家庭類型について算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に、利用意向を乗じて算出する。
- ・ 利用意向は、ふれあい子育て支援事業を希望している者の割合に平均希望日数を乗じた値【問 15】。

＜幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）＞

① 1号認定による利用

	家庭類型別児童数		利用意向		ニーズ量（人日）
タイプC' フルタイム×パートタイム（下限時間未満＋下限時間～120時間の一部）	2,151	×	20.1	=	43,161
タイプD 専業主婦（夫）	9,967	×	12.4	=	123,612
タイプE' パート×パート（いずれかが下限時間未満＋下限時間～120時間の一部）	74	×	20.5	=	1,512
タイプF 無業×無業	49	×	0.0	=	0

② 2号認定による利用

	家庭類型別児童数	利用意向	ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	177 ×	239.2 =	42,366
タイプB フルタイム×フルタイム	929 ×	260.0 =	241,614
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	752 ×	201.3 =	151,298
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0 ×	0.0 =	0

<一時預かり事業(その他)>

	家庭類型別児童数	利用意向	幼稚園における在園児を対象とした一時預かりのニーズ量
タイプA ひとり親	1,165 ×	15.528 -	
タイプB フルタイム×フルタイム	14,923 ×	12.018 -	
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3,520 ×	21.084 -	
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	3,413 ×	32.340 -	43,161
タイプD 専業主婦(夫)	19,227 ×	18.973 -	123,612
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	48 ×	48.000 -	
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	83 ×	20.500 -	1,512
タイプF 無業×無業	95 ×	11.810 -	0

	問16「5. ベビーシッター」「6. その他」の利用(人日)	ニーズ量(日)
- タイプA	180 =	17,914
- タイプB	2,018 =	177,315
- タイプC	415 =	73,791
- タイプC'	827 =	66,373
- タイプD	2,106 =	239,067
- タイプE	0 =	2,283
- タイプE'	0 =	195
- タイプF	40 =	1,083

＜子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター事業）（就学児のみ）＞

	家庭類型別児童数		利用意向		ニーズ量（人日）
タイプA ひとり親	1,552	×	1.860	=	2,887
タイプB フルタイム×フルタイム	5,489	×	2.082	=	11,429
タイプC フルタイム×パートタイム (48時間以上)	7,330	×	1.346	=	9,866
タイプC' フルタイム×パートタイム (月48 時間未満)	1,874	×	0.544	=	1,020
タイプD 専業主婦(夫)	9,618	×	1.655	=	15,914
タイプE パート×パート(双方月48時間以上)	29	×	0.000	=	0
タイプE' パート×パート (いずれかが月48時 間未満)	30	×	15.000	=	446
タイプF 無業×無業	147	×	0.500	=	74

【需要量見込み】

＜幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）＞

① 1号認定による利用	168,285 人日／年
② 2号認定による利用	435,278 人日／年
計	603,563 人日／年

＜一時預かり事業（その他）＞

578,021 人日／年

＜子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター事業）（就学児のみ）＞

41,636 人日／年

6 病児・病後児保育

- ・ 就学前児童調査の家庭類型 A・B・C・E について算出する。
- ・ 「家庭類型（潜在）別児童数」に、利用意向を乗じて算出する。
- ・ 利用意向は「両親のどちらかが休んだことがあり、病児・病後児保育サービスを利用したいと思った者【問 15-1・15-2】」と「病児・病後児保育サービス利用したことがある者（ふれあい子育て支援事業、仕方なく子どもだけで留守番をさせた者を含む）【問 15-1】」を合計した割合に、「それぞれの年間希望日数、年間利用日数の総計を利用者・希望者の実人数で割った年間平均日数」を乗じた値

	家庭類型別児童数		利用意向		ニーズ量（人日）
タイプA ひとり親	1,165	×	4.795	=	5,588
タイプB フルタイム×フルタイム	14,923	×	4.375	=	65,288
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3,520	×	2.125	=	7,478
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	48	×	0.000	=	0

【需要量見込み】

78,354 人日／年